

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	戦没者追悼式推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	石戸 敏久				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	先の大戦における本市関係戦没者の遺族等	意図	戦没者に追悼の誠を捧げるとともに、恒久平和を祈念する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺族等が一堂に会し、追悼の誠を捧げる式典を開催し、恒久平和を祈念し、平和施策推進を図る。</li> <li>戦没者遺族が高齢化しているため参列者の送迎を行い、事業推進を図る。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後72年が経過し、戦没者遺族の高齢化が進み、参加者は減少傾向にある。</li> <li>参加者の減少により、平成21年度より会場を生涯学習センターに移し実施している。</li> </ul>			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	追悼式の参列人数	152	159	162	人	→→	
②	遺族会会員数	212	203	202	人	→→		
③	バス利用申込者	28	37	39	人	→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 戦没者遺族の高齢化が進み、参列するのも大変になってきている。参列者の減少に伴い、バスでの送迎方法も今後検討していく。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,776,734	1,665,768	1,732,083				
事業費(b)(円)		759,414	657,808	731,443				
うち一般財源		759,414	657,808	731,443				
職員給与費(c)(円)		1,017,320	1,007,960	1,000,640				
人役・職員(人)		0.08	0.08	0.08				
人役・再任用(人)		0.12	0.12	0.12				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	遺族会組織を通じて参加を促し、事業の継続を図る。	③取組における課題(Check)	遺族の高齢化による参加者の減少。
②H30に実施した取組(Do)	流山市遺族会総会にて、会員へ追悼式への参加を促した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	遺族の高齢化、次世代への伝承の難しさから、参加者が年々減少している。今後どのように継続していくか検討していく。